

# 南の風 FIBA 女子アジアカップ特集号

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

やりました！！

日本女子代表アカツキファイブアジアカップ4連覇！！

おめでとうございます！！

女子アジアカップ決勝で、日本女子代表は71対68で宿敵中国を破り、

輝く4連覇達成です！！

スコアの内訳です。

	Q1	Q2	Q3	Q4	合計
日本	17	17	20	17	71
中国	19	16	16	17	68

主なスタッツです。

	2PTS	3PTS	F T	OREB	DREB	T O	STL
日本	21/55 38.2%	9/15 60%	2/5 40%	13	23	12	8
中国	20/43 46.5%	8/17 47.1%	4/5 80%	9	28	18	5

ずばり勝因は3Pシュートを含む、決め切るシュート力です。1Qの出だしこそシュートの入りが悪かったですが、それ以降中国の高さを潜り抜け、ここ一番でのシュートの精度は安定していました。

ここで日本女子の主な選手のシュートランキングとシュートの特徴を紹介します。

① 本橋 菜子選手→24点（2/3の3Pシュートを含む。）

168cmの身長ながら、縦にペイントに切り込むドライブやストップジャンプショットの切れ味は抜群でした。ドライブでペイントに進出した時、高さのあるディフェンスに対して、タイミングをずらしたワンステップのドリブルシュートや、ディフェンスの状況を瞬時に察知してのサドンストップジャンプショットは、ミニバスや中学の選手にとってお手本でした。さらに要所でみせる3Pシュートの確率も高く安定していました。大会ベスト5に選出されただけでなく MEP プレイヤー賞も受賞しました。今や日本女子代表のトップガードとしての地位を確立しました。

② 高田 真希選手→14点（2/3の3Pシュートを含む。）

日本女子代表アカツキファイブのキャプテンとして存在感を発揮しました。今大会シュートの調子は今一つでしたが、決勝の中国戦では大事な場面で2本の3Pシュートを含む14点を挙げました。日本女子代表の精神的支柱でした。キャッチ&シュートのスペシャリストです。

③ 林 咲希選手→9点（得点はすべて3Pシュート3/4）

今年度初めて日本代表に召集された選手。決勝では3Pシュートの確率75%を上げ、日本の優勝に大きく貢献しました。3Pシュートの鬼でした。 II号に続く。